

第32期

鳥取学 出前講座

好評につき年間を通して毎月(原則として第3木曜日)に開催しています。

鳥取の歴史や人物・食などに“学”の味つけをし、がぶりと丸かじりしてもらう試みです。

期 間：第32期として、10月から3月まで6回、毎月1講座開催

日 時：原則として第3週の木曜日 (午後2:00～4:00) (今期から1日のみとなります)

会 場：鳥取県関西本部交流室 (大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階)
(梅田新道交差点の西北角にある33階建のビルです)

共 催：大阪鳥取県人会、鳥取県関西本部

定 員：50名程度 (事前申込みは不要です)

問合せ先：鳥取県関西本部 ☎06-6341-1977

大阪鳥取県人会 出前講座担当 090-1588-3550 (井関) 090-1671-1112 (福山)

受講料：6回通しで5,000円 (県人会会員は3,000円) (受講料には最終の懇親会費を含む)
新たに県人会に入会されますと4,500円(県人会費半年分1,500円+受講料3,000円)です。
1回のみ1,000円の受講も可能です。

講 座 内 容	回	月 日	テ ー マ	講 師	
	1	10月18日(木)	リヤカー引いて世界の果てまで	吉田 正仁 氏	冒険家
	2	11月15日(木)	最年少町長就任からの一年半と これからの大山町	竹口 大紀 氏	大山町長
	3	12月20日(木)	鳥取県が生んだ鬼塚喜八郎の生涯	神崎 和則 氏	神戸鳥取県人会 会長
	4	1月24日(木)	橋田邦彦とその周辺	山脇 幸人 氏 ゲスト 金田 治也 氏	倉吉市立図書館 館長 (県人会会員)
	5	2月21日(木)	エコツーリズムで世界へ発信! 鳥取県大山の魅力	伊澤 大介 氏	有限会社森の国 代表取締役社長
	6	3月14日(木)	鳥取をアートの拠点に ～地方からの日本改造	中島 諒人 氏	鳥の劇場 代表

※日程やテーマ、講師は都合により変更になる場合があります。

共 催：大阪鳥取県人会・鳥取県関西本部

以下の「申込書」と「受講理由」は初めての方のみ、お書きください。

申 込 書	ふりがな			〒	—	出身地
	名 前	年齢 (歳)	住 所			
	連絡先	電話	— — FAX	— —	メール	

受講理由

いくつでも○印をつけてください

1 鳥取県の出身だから	5 鳥取県人とふれ合いたい
2 愛着を感じる	6 毎回のテーマに引きつけられて
3 鳥取をもっと知りたい	7 その他
4 興味があるから	()

「鳥取学出前講座」運営協力金 申込書

募金口数	(1口5,000円)	金 額	
氏名・住所・電話			

鳥取学 出前講座

内容一覧

月	テーマ	講師(敬称略)	
第1期 平成14年度	7 2000年の眠りから覚めた青上寺地遺跡	久保根 二郎 鳥取県教育委員会 妻木 健田・青上寺地遺跡 遺跡管理員	
	8 因州和紙の歴史 因州和紙を使った作品づくり	中原 剛 中央商店 常務取締役 佐藤 工芸士	
	9 鳥取県が世界に誇る氷温技術	山根 昭彦 氷温研究所 代表取締役 後藤 良博 博士	
	10 童謡唱歌のふるさと鳥取	鈴木 恵一 わらべ謡・童謡・唱歌推進員 作曲家	
	11 鳥取から環境を考える	加藤 尚武 鳥取環境大学学長	
	12 鳥取の酒物語	尾崎 繁 杉の葉・吟韻の会会長 鳥取大学名誉教授	
	第2期 平成15年度	7 国宝 三徳山三仏寺投入堂の謎に迫る	光谷 拓実 奈文研究所
		8 アジア梨浪漫「梨の来た道」	米山 寛一 果樹試験場長
		9 鳥取の伝承行事	坂田 友宏 米子工業教授
		10 写真に親しむ	沖 正 日写協会会員
		11 三朝ラジウム温泉の不思議	谷崎 勝明 岡山医大三朝
		12 転んだら起きればよい	鬼塚喜八郎 アシックス
第3期 平成16年度		7 豪商 淀屋家の真実	新山 道江 真説淀屋著者
		8 かに殻? どないすんねん?	佐藤 公彦 県産業技術
		9 ボツワナすいか探検記	足立 恵一 県農大専務
		10 いま、蘇る麒麟獅子伝説	山本 雅明 キリノロジー
		8 鳥取の民話とわらべ歌	酒井 重美 鳥短大学教授
		9 神の住む山、大歌	森田 富雄 鳥西部長
	第4期 平成17年度	10 とっとり おさかなカレンダー	古田 晋平 県栽培漁業
		11 鳥取の川と文化	道上 正規 鳥取大学学長
		12 フランスワインと北条ワイン	河原 達 元ワイン館長 山田 章弘 北条ワイン
		1 水木しげると妖怪	足立 倫行 作家
		2 幕末の鳥取藩の志士たち	坂本 敬司 県立博物館
		3 鳥取文学散歩	竹内 道夫 文芸史研究者
4 輝ける弥生王国とっとり		佐古 和枝 関西大教授	
5 真相・南総里見八犬伝		中村 見目 大岳院	
6 鳥取県民の開拓移住		伊藤 康晴 市歴史博物館	
7 商工業の現状と展望		八村 輝夫 鳥取商工会議所	
8 郷土部隊の悲劇		三森 政治 元121連隊長	
9 おいしさを求めて70年		大森 英夫 日清ハム会長	
第5期 平成18年度	10 文久三年の因州藩	三上 茂文 京鳥取県代表	
	11 第32回 ちよっとおもろいカニ二話 県栽培漁業 古田 晋平		
	1 山陰における鉄道建設	宮内 健良 国鉄工務局	
	2 鳥取県産日本酒・焼酎の魅力	岡崎 晴夫 千代むすび	
	3 秀吉の鳥取城攻め	錦織 勤 鳥大地域学部教授	
	4 米子藩の歴史	杉本 良巳 山陰歴史館	
	5 砂丘ものがたり	赤木 三郎 鳥大名誉教授	
	6 三徳山1300年の歴史	米田 良中 三徳山三佛寺	
	7 砂丘らっきょうのおもしろ学	山田 準二 農業改良普及	
	8 尾崎 翠と鳥取人脈	佐々木孝文 市歴史博物館	
	9 オンリーワンをめざして!	谷口 幸敬 県産業技術	
	10 初の女性議員	谷口 啓子 県立公文書館	
第6期 平成19年度	9 鳥取のソウルフードとうふちくわ	植田 英樹 とらふちくわ	
	10 名和長と後醍醐天皇	岡村 吉彦 県史編纂室	
	11 私とボブスレー	小林 竜一 県体育協会	
	11 第46回 50回記念講演会片山知事の特別講座		
	12 来て見て体験! 手作りの地酒	三宅 清一 南益尾酒造	
	1 日野の文人たち	上田 京子 米子市図書館	
	2 抗菌・抗ウイルス素材の開発について	若林 一夫 用瀬電機機	
	3 和牛改良のふるさと鳥取	山下 正信 県畜産試験場	
	4 民生機器に使われているGPSについて	竹内 喜旦 鳥取三洋電機	
	5 山陰初の20万都市鳥取市の発展戦略	川内 功 鳥取市長	
	6 山中鹿之助と亀井茲矩	池田 正顕 幸盛寺住職	
	7 いわれなき毒囚を顧みて	蜂谷弥三郎 奇蹟の生還者	
第7期 平成20年度	8 香取村づくり60年のあゆみ	田尾 昭典 香取開拓組合	
	9 酒造りの基本は米作りから	中井 秀雄 中井酒造	
	10 地方から発信する映画	松本 薫 梨の花原作者	
	11 青上寺地遺跡の暮らしと景観	家塚 英詞 県埋蔵文化財	
	12 地ビールを楽しむ	田村源太郎 大LIGビール	
	1 待たなしの環境問題	古澤 巖 鳥取環境大学	
	2 米子市の現状と課題	野坂 康夫 米子市長	
	3 前田寛治と菅橋彦	前田 明範 倉吉博物館	
	4 「遙かなるまき吉」とこれからの街づくり	長谷川 稔 倉吉市長	
	5 須田剱太衛が描いた「鹿野往来と今」	小林 清 鹿野まちづくり	
	6 モンゴルの野生動物と環境研究	伊藤 健彦 鳥大乾燥地研	
	7 境港クワマガロの旨い話	権田 和志 名物料理会	
第8期 平成21年度	8 星の魅力と鳥取	香西 洋樹 佐治天文台長	
	9 音楽熟成で人生が変わる	杉原弘一郎 音楽熟成協会	

月	テーマ	講師(敬称略)	
第9期 平成22年度	10 漂着、飛来する仏像	石田 敏紀 県立博物館	
	11 砂の彫刻とまちおこし	茶園 勝彦 砂像彫刻家	
	12 住民によって輝くまちづくり	小林 昌司 香取町長	
	1 中海圏域における連携と共栄	中村 勝治 境港市長	
	2 ブラジル移住と鳥取県	小山富見男 鳥取敬愛高校	
	3 鳥取の森と水	徳田 昌嗣 奥大山ブナ森	
	第10期 平成23年度	4 2009鳥取・因幡の祭典とは	瀧本 覚 実行委員長
		5 戦後復興に燃えた国連大使津田三郎の横顔	榎本 武利 岩美町長
		6 豊かな産業と観光資源を活かしたまちづくり	田中 海雄 琴浦町長 松本 清志 アスロード
		7 ほほ笑みのお酒	豊澤 恵美 西本酒造社氏
		8 山田薫資料が今に伝えるもの	梅村 智美 山陰歴史館
		9 鳥インフルエンザ研究の最前線	能勢 隆之 鳥取大学学長
10 因幡国守大伴家持と万葉集最後の歌		中山 和之 因幡万葉歴史館	
11 金持神社とおどりの住むまち		景山 享弘 日野町長	
12 氷温技術の活用		山根 昭彦 氷温協会	
1 倉吉いなか町おこし		田村 幹夫 「赤瓦」代表	
2 届けたい藍への想い		江口 俊憲 ちずぶる一	
第11期 平成24年度		3 卯馬台山山陰説	田中 文也 古代史研究者
	4 未来へ繋ぐ関西と鳥取の絆(仮題)	平井 伸治 鳥取県知事	
	5 大山の恵みを活かしたまちづくり	森田 増範 大山町長	
	6 健康にはスポーツが一番!	小原 工 米子市観光協会	
	7 賀露神社と鳥取の歴史	岡村 吉明 賀露神社	
	8 大阪で氷温米売上1への道	松井 洋一 県食営業課長	
	9 蟹がらでアンチエイジング	南 三郎 鳥大農学部	
	10 ガイナーレ鳥取:Jリーグとホームタウン	塚野 真樹 SC鳥取代表	
	11 フルーツ王国 八頭町発信戦略	平木 誠 八頭町長	
	12 鳥取弁による笑いとし	石川 達之 シンガーソングライター	
	1 医療と福祉の町 日南町	増原 聡 日南町長	
	第12期 平成25年度	2 鳥取藩士と坂本龍馬	来見田博基 県立博物館
3 山陰の可能性		奥田 英範 さんいんキラリ	
4 イナバの白ウサギ		石田 敏紀 県立博物館	
5 智頭町「疎開」保険と森林セラピー		寺谷誠一郎 智頭町長	
6 第101回 100回記念講演会 衆議院議員 石破 茂氏			
7 全国豊かな海づくり大会		平野 誠 豊かな海づくり大会	
8 小説「TATARU」		松本 薫 すぎはらみき たらら顕彰会	
9 おいしいごはんとはなんの友		下澤 理知 K・ラボ	
10 鳥取県教育		若原 道昭 龍谷大前学長	
11 伯州錦と弓矢餅		田中 博文 工房ゆみはま	
12 とっとり環境イニシアティブ		法橋 誠 県生活環境部	
第13期 平成26年度		1 織田VS毛利	岡村 吉彦 県公文書館
	2 いふるさと紹介	岡村 秀光 三朝町長	
	3 鳥取県の地震対策について	西田 良平 放送大学鳥取	
	4 山陰海岸ジオパークと鳥取砂丘	岡田 昭明 山陰海岸ジオパーク	
	5 古事記神話の舞台・山陰	多羅尾登治 作家	
	6 天女の降る里湯梨浜のまちづくり	宮脇 正道 湯梨浜町	
	7 地域の絆 リズムにのせて	関原希代一 貝がら節保存	
	8 オリジナル紙芝居による地域興し	松村 宏 紙芝居師	
	9 エコ製品の販路開拓戦略	石田 康雄 精工コマ社長	
	10 きこの研究拠点 とっとり	福智 幸隆 きこのセンター	
	11 マンガサミットと境港の観光振興	黒田 正己 市観光協会	
	12 吉田環地と鳥取の民藝	木谷 清人 やまびこ館	
第14期 平成27年度	1 南部町のまちづくり	坂本 昭文 南部町長	
	2 田舎から世界へ	鷲見 浩生 丸京製菓社長	
	3 鳥取県の平家落人伝説	坂田 友宏 伯耆文化研究	
	4 三朝温泉の地酒を飲もう!	藤井 公典 藤井酒造代表	
	5 鳥取で当地グルメのスヌメ	植田 英樹 情報文化研究	
	6 風とコナンのまちづくり	松本 昭夫 北栄町長	
	7 田舎でつくる高付加価値	山本 敬 餅/パルコ	
	8 鳥取道と関門通後の山陰再発見	磯江 保 県観光連盟	
	9 天下の豪商「淀屋」と倉吉の「牧田淀屋」	浦田 建三 淀屋研究会	
	10 地域の災害史から学ぶもの	横山 展宏 市歴史博物館	
	11 鳥取藩32万石	大川 泰広 県文化財課	
	12 大山からはじまる山陰活性化	稲田二千武 ファミリーイナダ	
第15期 平成28年度	1 麩る弥生の国邑(こくゆう)	濱田 竜彦 むきばんだ史跡公園	
	2 参道と協働のむらづくり	石 操 日吉津村長	
	3 南極と地球環境	成瀬 康二 元南極観測隊隊長	
	4 鳥取固有の酒米「強力(ごうりき)」の魅力	中川 盛雄 中川酒造蔵元	

月	テーマ	講師(敬称略)	
第16期 平成29年度	4 鳥取の元氣 あれこれ	藤縄 匡伸 鳥取商工会議所	
	5 人形に想いを込めて	安部 朱美 人形作家	
	6 鳥取はなぜ食べものがおいしいか?	田中 正保 田中農場代表	
	7 地域資源を活かしたまちづくり	竹内 敏朗 江府町長	
	8 時速5キロの旅	吉田 正仁 冒険家	
	9 弓ヶ浜の母なる川	安田 到 西部総合事務所	
	第17期 平成30年度	10 人生を変えた14万kmの軌(わだち)	加藤 彰 自転車野郎アキラ
		11 光り輝く古代の伯耆(ほうき)	根鈴 輝雄 倉吉博物館長
		12 神話絵画を通して日本文化を知る	小瀧 一紀 画家
		1 特急スーパーはくとの旅と七つの風	岡村 俊作 智頭急行社長
		2 人口減少・高齢化社会へのアプローチ	森安 保 伯耆町長
		3 日本を代表するフラワーパークを目指して	河崎 積 とっとり花回廊
第18期 平成31年度		4 さまよる田中の世界一周	田中正之・田中愛子 旅行記著者
		5 燗酒のスヌメ	福隆 隆元 福隆酒造代表
		6 「つくる」と「つかう」をつむぐために	廣川 信也 廣川株式会社
		7 「くらしよ。のまちづくり」(台風で石田市長欠)	谷本 真一 倉吉市関西事務所長
		8 鳥取への学童集団疎開	石田 敏紀 倉吉西高教諭
		9 童謡・唱歌のふるさと鳥取	平橋 佐和 わらべ館
	10 八頭町地蔵おこし協力隊活動レポート	緒方 隆紀 地域おこし協力隊	
	11 山陰海岸ジオパークの魅力と活用について	安藤 和也 山陰海岸学館 専門員	
	12 鳥取道台場跡探訪〜幕末における復興思想〜	中原 齊 鳥取道文化センター 所長	
	1 第157回 新春特別講座「地方から創生する我が国の未来」 石破 茂 国務大臣		
	2 これからの鳥取市のまちづくり	深澤 義彦 鳥取市長	
	3 ~鳥取でバイオリンの聖地をめざす~	岡野 壮人 三朝バイオリン美術館 館長	
4 産・官・学連携から生まれた新技術	津森孝義・西本正敏 水産総合研究センター		
5 健康長寿日本一をめざすまちづくり	山下 一郎 琴浦町長		
6 東郷地周辺の歴史遺産・文化財(特に「東郷山下中分地蔵」と「橋津海倉」について)	佐々木清彦 「橋津歴史塾」・会長		
7 歩いて癒やされる地域づくり ~ワールドトレイルスカンファレンスとは?~	高務 裕子 鳥取県ワールドトレイルスカンファレンス室長		
8 地域とともに生き残りを図る若狭鉄道 ~見道されてきた意気込みと後継 果たしては続くのか!~	山田 和昭 若狭鉄道株式会社 代表取締役社長		
9 鳥取市市民民俗文化財 佐治台話のルーツを探る	有本喜美男 じむ話会(語り部)		
10 マンガは地方を変えられるか?	西尾 肇 鳥取短期大学非常勤講師		
第19期 平成32年度	11 郷土の漫画家・ヘンリー・木山義喬と地方創生 ~「漫画四人書生」をまわりの顔に~	景山 享弘 日野町長	
	12 人の思いが地域を支える ~やずの創生~	吉田 英人 八頭町長	
	1 鳥取県の「あご」を使って鳥取から全国へ	種子 晋司 株式会社ヘイセイ 東伯ガス産業株式会社 代表取締役	
	2 鳥取に根ざした米子高専	氷室 昭三 米子工業高等専門学校 校長	
	3 大江賢次の世界	竹内 道夫 文芸史家	
	4 菅橋彦 ~大阪を愛した町絵師の生涯~	明尾 圭造 大阪商業大学 商業史博物館 主幹学芸員	
	5 農と食をつなぐ観光地を目指して 私たちは一個100円の卵から始めました	小原利一郎 大江の郷 自然牧場 代表取締役	
	6 災害からの復興	石田耕太郎 倉吉市長	
	7 悩める聖徳太子	森田 敏明 和宗総本山四天王寺 寺長	
	8 3,000人の楽しい町 ~奥大山江府町の活性化戦略~	白石 祐治 江府町長	
	9 カナダへ移住した鳥取の人々	末永 和子 エッセイスト	
	10 ものづくりへのこだわり ~Made in Japanを大山町から世界へ~	地引 俊鳥 株式会社エッセイスト 代表取締役社長	
第20期 平成33年度	11 尾崎敬哉の生涯と街を彩る100の石碑	岡村 洋次 郷土町とっとり交流館 鳥取県立博物館 事務局長	
	12 投入堂 一解けた謎・深まる謎	生田 昭夫 有限会社堂計画室 代表取締役	
	1 源泉回帰「開金温泉開湯1300年祭」の取り組みとその未来	上野 俊樹 源泉回帰「開金温泉開湯1300年祭」実行委員会	
	2 大山開山1300年祭をむかえて ~よみがえる大山信仰~	大龍 宏雄 大山寺園流院 住職	
	3 鳥取市が生んだ世界的漫画家・谷口ジローさんを偲んで	西尾 肇 鳥取短期大学 非常勤講師	
	4 ソムリエが見る鳥取の地酒の将来性 ~鳥取の時代がやってくる?~	谷本 暢正 株式会社本社酒造 代表取締役社長	
	5 写真で知る鳥取の魅力・美しさ	柄木 孝志 カメラマン・地域活性化プロジェクトリーダー	
	6 なんぶ創生と里山デザイン	陶山 清孝 南部町長	
	7 神話の絵画をとおして学ぶ日本の心	小瀧 一紀 画家	
	8 今に伝える匠のこころ「淀江傘」	山本絵美子 淀江傘伝承の会 会長	
	9 グラウンド・ゴルフと鳥取の芝づくり	大田 英二 株式会社チュウブ 代表取締役会長	
	10 郷里・岩美から世界へ ~澤田廉三と美喜の足跡~	伊藤 康 鳥取県立公文書館 総括専門員	